



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y' S MEN' S CLUB

The Y's Men's Club of Kanazawa

CHARTERED JULY 9, 1947

c/o KANAZAWA YMCA 44-1-202 SATOMI-CHO KANAZAWA 920-0998 JAPAN

国際会長主題	「言葉より行動を」	“Talk Less, Do More”
アジア地域会長主題	「未来を始めよう、今すぐに」	“Start Future Now”
西日本区理事主題	「響き合い、ともに歩む」	“To walk together, echoing each other”
中部部長主題	「将来を見つめたワイズ活動」	を今やってみよう！
金沢クラブ会長主題	“ Y's Be Ambitious !!”	

2014 9 月間強調

Menettes

今月の聖句 (担当 藤井 辰男君)

心を騒がせるな。神を信じなさい。そして、私をも信じなさい。

ヨハネによる福音書 14 章 1 節

9 月例会 プログラム

と き 2014 年 9 月 18 日 (Thu.) 18:30~20:30
 と ころ 金沢ニューグランドホテル
 会 費 ¥3,000 (会員不要) ¥2,000 (メネット)

司会 伊藤悦子さん
 開会・点鐘 数澤淑子メネット会長
 主 題 司 会 者
 ワイズソング 一 同
 今月の聖句 聖句担当者
 ハッピーバースデー 清水淳会長
 ゲスト紹介 山内ミハルさん
 食前の感謝 澁谷節子さん
 スピーチ “特殊詐欺の事例と対応”
 高嶋良雄氏
 中野隆行氏
 委員会報告 各 委 員
 ニコニコタイム 山本典子さん
 Y M C A の 歌 一 同
 閉会・点鐘 数澤淑子メネット会長

9 月強調月間

各クラブでメンがメネットの参加を促せる例会の企画を！メネットは是非例会に参加し、ワイズの醍醐味を味わってください！

メネット事業主任 西村寛子
 (京都プリンスクラブ)

8 月 クラブ活動状況

第 1 例会 (8 月 21 日 Thu.)

メ ン : 伊藤、数澤、幸正、澁谷、清水、西、山本 (7 名)
 メイクアップ : 藤井、山内 (2 名)
 出席率 : 100 %
 メネット : 伊藤、数澤、山本 (3 名)
 ゲスト : なし

第 2 例会 (8 月 2 日 Sat.)

メ ン : 伊藤、数澤、澁谷、山内 (4 名)
 メネット : 数澤 (1 名)

ニコニコタイム

10,000円
 クラブファン ド 累計 18,900円

B F ポイント

切手 0 kg 累計 0 kg
 現金 0 円 累計 0 円

第一例会 : 毎月第三木曜日 18:30~20:30
 金沢ニューグランドホテル Tel (076)233-1311
 第二例会 : 毎月 1 日 18:30~20:00
 金沢ニューグランドホテル 2F (トレド)

会 長 清水 淳 書 記 山内ミハル
 副会長 澁谷洋太郎 会 計 伊藤仁信
 直前会長 幸正 一誠 メネット会長 数澤淑子

私たち夫婦の夏休み小旅行

山本 達也

8月のお盆にあわせて休みを取り、子供たちのところを車で回る事にしました。私たちは、まだまだ若いつもりですが、昨年に、子供二人が結婚し家庭を持ちました。やはり私たちの年齢になると夜間の運転に不安が付きまといまふ。夜に出発するのを断念し、早朝5時に自宅から、まずは東京に向けて出発しました。朝の北陸道はがらがらでスピードを出すつもりはなかったのですが、気持ちよく走れました。北陸道から上越道までの26箇所のトンネルも楽しかったです。小布施SAまで一気にいき、そこで家内と運転交代しました。家内が運転すると、私よりスピードが少し落ちますが1時間でもしてもらおうとかなり楽しです。眠くならないように讃美歌を歌いながら運転していましたが声を張り上げることはいいですね、眠気が飛びます。横川SAで峠の釜飯をお土産に買いました。車中では、生まれた孫たちのことで話がつきません。金沢を出発して4時間半で練馬料金所に着きました。途中で反対車線の大渋滞を片目で見て、本当は両目で確認していますが、逆方向でよかったねと二人で喜んでいました。反対車線の人は大変ひどい思いをしていると同情しました。東京では世田谷の家内の両親の自宅に向かい、家内の弟夫婦も集まり楽しく昼食を取りました。夕方には車で25分くらいの距離の杉並に居る次男のところに出かけました。次男は仕事で帰りが遅かったので、それまでは嫁と生後3ヶ月の孫(男) 囲んで楽しい時間を過ごし、息子が帰ってから、ワインを楽しみました。

翌日は家内の両親がひ孫に会いに来ました。食事を食べてから孫たちと別れ、両親の家に戻りました。そ



の夜は、両親の病気の話とか、いろいろな相談話をワインを飲みつつ、じっくりと聞いて長い夜を過ごしました。翌朝は快晴で長男の居る山梨県富士吉田に向かいましたが、いつもは1時間程で着くところが渋滞と事故で2時間以上かかりました。中央道の急なカーブの多さには参りました。長男のところは子供が生まれたばかりで、昼に病院に直接向かいました。孫(女)に会ってから、息子が予約してくれた高原の中にある中華店に行きました。周囲が木々に囲まれたお店で趣がありました。昼過ぎに東富士五湖道路を経由して山中湖にあるホテルに着き、そこで1泊いたしました。露天風呂は小雨の中でしたがよかったです。翌朝には、山中湖周囲をのんびり散策して、一部に雲のかかった富士山を見ながら、また長男夫婦の所に戻りました。病院で孫に対面し、二人でしっかり抱きかかえて安心いたしました。名残惜しかったですが、おおよそ5時間の金沢の帰路に就きました。

親バカならぬ、じじバカ道中で、元気に帰ったつもりでしたが、残念なことに、翌日起きてみると、腰痛が出て、歩行が思うようにできません。かに歩きといひますか、へっぴり腰になってしまい、自分の年を再確認いたしました。

【8月例会報告】

8月例会はゲスト・ビジターともになく、欠席者・遅刻者もあり静かに始まりました。

伊藤会計からの前期会計報告があり、クラブの活発な運営のためには会員数を増加させることにより収入の基盤を強化させることが最も重要であることをあらためて感じました。

7月27日に開催されたEMCシンポジウムを受けて「EMCについて今できること」を話し合いました。

会員制のクラブにおいてメンバーの増強は永遠のテーマです。メンバーを増やすことはもちろん減らさない努力も必要となります。

YMCAとワイズメンズクラブの認知度が低い中で少しでもその活動をアピールして知名度を上げていかなければならないと思います。

地道に活動を理解してもらえる人を増やしていかなければならないわけですが、まずはビジター参加者を増やしていくことが重要だと思っています。参加者が多くなれば例会の活気も増すことにもなります。

ビジターの方々が誘い合わせて参加していただける雰囲気を作り、参加してもらえる工夫をし、メンバーに勧誘するということを目標にしたいと思います。

そのためにはビジターの方々が参加しやすい例会を作っていくことが必要です。現在も過去のビジター参加者・スピーカーの方々にブリテンを送る参加を促しているわけですが、皆さんがさらに参加しやすくするには早めの案内も必要だと思っています。ブリテンでの詳細な活動内容の報告ではなく、他のクラブですぐに実行されていることですが、ゲスト参加者の方々の予定が決まる前に例会の簡単なご案内を早い時期（前月中）に行うことも必要ではないかと思えます。

「ワイズメンズクラブとは何か」をわかってもらうことは簡単ではありません。YMCAの活動も同じですが、決してクリスチャンに参加が限定されている会ではないことをも理解してもらわなければなりません。仏教徒であってもクリスマスをお祝いし、チャペルで結婚式を挙げるのですから、あまり意識せず会に参加してもらえればいいと思っています。

新しいメンバーを見つけることはなかなか難しいわけですが、いろいろな方法があると思います。

まずは、自分がいつ、誰から、どうやってワイズメンズクラブに勧誘されたのか思い出してみてください。



入会してよかったこと、楽しかったことも思い浮かべてください。新メンバー勧誘のヒントになると思います。

会員増強には労力と時間がかかりますが、「大志を持って」コツコツと地道に工夫して行きたいと思えます。加えてクラブとしてプログラムを企画運営していくことにより知名度をアップしていくことも必要だという意見も出ましたので、今後の例会の中でもまた話し合う機会を作っていきたいと思えます。

(会長 清水 淳 記)

10月の担当

ブリテン執筆：伊藤 仁信君
山内ミハルさん
聖句担当：山本 達也君
卓話担当：澁谷洋太郎君



<ジャガイモ・カボチャの販売について>

毎年恒例、十勝クラブから購入依頼が来ています。

価格：ジャガイモ (10kg) 1,900円

カボチャ (10kg) 2,700円

申込期限：9月10日(水)

到着予定：10月11日(土) (山内宅)

購入希望の方は清水会長まで。



Happy Birthday

メン 藤井 辰男君 9月16日

【寄稿】

金沢YMCA “わいわい農園体験”

～これまでの計画策定から収穫まで～

評議員 北 肇夫 (金沢犀川ワイズメンズクラブ)

この計画の発端は、金沢犀川クラブの農園活動の場として身近な畑地を探していたところ、「たけのご掘り体験」が北陸学院大学・三小牛キャンパスで開催された折に、朝倉理事長から表題の件につき計画策定の依頼があったので、急遽、金沢犀川クラブの有志で取り組むこととなったものである。その後、2013年5月30日に開催された金沢YMCA 定期会員総会席上で、「金沢YMCA わいわい農園計画」が承認された。

この事業の目的は、金沢YMCA 会員および金沢・金沢犀川ワイズメンズクラブとの相互の親睦を図ることとした。この事業への参加者は、趣旨に賛同し、年間の参加費を納入したもので構成し、委員会制で運営することとなった。この事業への賛同者は、当初、金沢YMCA から3名、金沢・金沢犀川ワイズメンズクラブからそれぞれ6名で、総勢15名となった。そのなかから委員会制で運営するための役員を選任すべきだったが、実質的な運営には、朝倉理事長がチーフ、斎藤しのぶさんが会計担当、金沢犀川クラブのメンバーが実働部隊として活動した。

2年目の今年度の事業としては、前年度の反省を踏まえ、早目の計画立案・適期の植付け作業をし、8～10月頃の収穫作業の後には、冬野菜を栽培し、年度内の収穫作業を行うこととした。また、栽培方針は、有機農法による少農薬とし、夏秋野菜類(サマイ、サト、枝豆など)と冬野菜類(石川源助がイソ、中が、ニンジ)を中心としている。

北陸学院大学・三小牛キャンパスでの「わいわい農園」の設置箇所は、小学校体育館の隣接地で、今春に「たけのこ掘り体験」を実施した箇所の手前に位置している。その農園には、小学校の各クラスの畝や大学のサークルの畝が割振られている。金沢YMCAに割振られた畝は、当初の4畝だったが、秋冬野菜の植付け時には7畝となり、畝幅1.2m、長さ約10mの割り当てとなっている。

今年度、現地での作業の経緯は、つぎのとおりである。

①4月、有志により農園の伐根、除草、耕運、畝建て、施肥などを行い、「金沢YMCA わいわい農園」の看板を立てた。

②5月、有志によりサマ任(五郎島金時、紅あずま)の葉挿し、枝豆(茶豆など4品種)や落花生の種子播きをした。

③その後、7~10日毎に点検や除草などを行なった。近くには散水栓が設置されていたので、管理作業には最適な環境にあった。しかし、除草作業には、農園管理に多くの時間が費やされた。しかも、隣地からのつ



る性雑草(クズやヤブガラシなど)には、手を焼いている。

④夏の収穫には、大いに期待して農園管理に努めたが、ダイコンや枝豆の生育不良にはガッカリした。

⑤初秋の収穫跡地では、耕運・畝建てなどの作業の後、冬野菜の播種などの作業をした。

⑥冬野菜の収穫作業は、年内ないし年度内を予定している。

今後、植付作業や収穫時には学童たちとの交流も企画し、都合がつく会員で日常管理をし、事業目的にそって皆さんに楽しんでいただければと思う。

~~~~~ ✕ ネット報 ~~~~~

雑感

わたくしは、この8月10日の台風11号が金沢近辺を通過している時に、不注意にも転倒事故を起して右手首骨折をいたしました。

丁度、主人は教会の用事で留守で、息子に県中央病院の救急棟に連れて行ってもらい、後から主人も駆けつけてくるという騒ぎになりました。応急の処置をしてもらい次の日に整形外科でギブスの処置と三角巾の手当てをしてもらいました。橈骨と尺骨が骨折したようです。診断名は「右手橈骨・尺骨遠位部骨折」です。そんなことで不自由生活が始まりました。利き腕の手首ですから何事も自由になりません。なんでも主人の介助がないとできない悲しさを味わっております。ブリテンの担当も手が使えないので、口述と冬の時期に書いておいたメモ「千枚田について」で役目を果たさせていただきます。



千枚田景勝保存実行委員会資料より

「あぜのきらめき」

能登の千枚田がLEDランプで綺麗に飾られていることをニュースで知り、ぜひ見たいと思い主人と友人と3人でバスツアーで出かけました。

いま世界農業遺産に認定されて、脚光を浴びている輪島千枚田のライトアップ「あぜのきらめき」です。あの千枚田のあぜみちが2万1000個のLEDランプで彩られピンクや黄色に輝いているではありませんか。上から見るとすり鉢状になった千枚田がロマンチックに浮かんで見えます。それがまた30分ごとに色が切り替わる壮大なイルミネーションで冬の寒さを忘れるような感動であり光景でした。千枚の田が織りなすあぜみち散策路もおつなもので、胸をときめかせて歩きました。所々にハート型に飾られた箇所があり、撮影ポイントになっていました。電気は太陽光発電のようで新しい技術が後押しする新鮮味を感じました。

駐車場はバスと車にあふれ人気の観光場所となっております。これからも世界農業遺産として新しい発想のもと、奥能登観光の魅力が発揮できるように期待したいと思います。

今年の夏は大変な異常で、暑さ真っ盛りの中で冬の記事を書いて恐縮ですが、お許しいただきますようお願いいたします。 (澁谷 節子記)